

総合計画の見直し内容は

発展し続ける自治体の構築



松田 昇 議員 (花巻クラブ)

Q 予想以上の人口減や社会情勢の変化により総合計画の見直しが必要と思われるが現在総合計画

A(市長) 見直しに当たり、仕事、暮らし、人づくりの3つの視点に立ち、財政状況、事業の効率性、実現可能な条件を考慮しながら指標等の再設定を行い、花巻市が発展し続

ける事ができる自立した自治体の構造をつくりあげる。 観光立市構想は 市長の公約の中に観光立市イーハトーブ花巻構想を展開するところがあるが、具体的にはどのような計画を策定して実行されてい

くか何う。 A(市長) 総合計画における観光施策を推進するため横断的、戦略的な方針を示したものである。指標は「花巻らしい魅力ある観光地づくり」「観光宣伝の充実」「観光スポットへ行きやすい環境整備」「おもてなしの心の醸成」の4つの柱からなり、花巻にしかない魅力を発信するなど、実行していきたい。



魅力ある観光地に向け、鹿踊で出迎え(新花巻駅)

市長の政治理念にのっと

岩手県で一番住みたいまち



増子 義久 議員

Q 宮沢賢治が一番にこだわることを愚かさを戒めていると思うが、マニフェストに掲げている

「岩手NO.1宣言」と、花巻の将来都市像「イーハトーブはなまき」との関連性について何う。 A(市長) 岩手県で一番に住みたいまち、訪れたいまち、活力あるまちであると自信を持って思えるような花巻市にしたいという理念を提唱したも

ので、その目標が総合計画に掲げている将来都市像「早池峰の風薫る安らぎと活力にみちたイーハトーブはなまき」である。 花巻空港の活用策は これからの政治には、米軍基地の75%が集中し

ている、沖繩の痛みを共有する豊かな想像力が求められる。今後の空港の活用策として、実現可能という観点とは別に、理念として沖繩・米軍普天間基地の訓練の一部を受け入れる考えはないか何う。 A(市長) これは国家行政の政府の責任、仕事であると考えているので、地方行政を預かる責任者としては、これにはコメントは控えさせていたいただきたいと思っています。



若者が住みたいと思うまちづくりを目指して(平成23年成人式)

いじめの実態と対応・対策は

個別面談等で状況把握に努める



照井 明子 議員

Q いじめの実態をどのようにとらえているか。あわせて学級崩壊についての実態調査は行われて

いるか何う。また、対応策はどのように行われているか何う。 A(教育長) いじめの実態は、児童生徒の立場に立って、アンケート調査、個別面談、個人ノート等の活用により早期認知・把握に努めている。学級崩壊については、教育委

員会が毎年、小中学校の全学級の授業参観や全教員との懇談会を実施し、状況把握に努めている。 新保育制度の課題は 政府は新たな保育制度「子ども・子育て新システム」を、2013年の実施を目指し検討している。

利用者と事業者の直接契約についてどのようになるか、待機児童の把握、契約できない子の保育はどのようになるか何う。 A(健康・子ども部長) 親の就労状況に依ることのできる公的保育サービスを確実に保障するため、客観的な認定基準の検討が進められている。待機児童と思われる方については、斡旋・情報提供が責務となる。



新しい子育てシステムが検討されている

花巻版・介護支援ボランティア 制度導入に向け調査・研究



藤井 幸介 議員

Q 全国的に増加する高齢者人口を、2015年問題や2025年問題として

者人口の増加に伴う要支援・要介護への増加に対し、花巻版介護支援ボランティア制度を導入すべきと考えるがどうか。 A(生活福祉部長) NPO法人で介護サービス事業所を運営または市から受託している団体は6団体ある。高齢化に伴いN

P O法人やボランティアの役割は大きくなる。介護支援ボランティア制度は全国でもいくつかの自治体で行われており、社会活動に参加する元気な高齢者が増加し、介護給付の抑制につながる。本市も、導入に向け社会

福祉協議会などの協力を得て協議していきたい。 イギリス海岸に桜を イギリス海岸から北上川河川公園までの一帯に桜を植樹し「イギリス海岸サクラ並木」として新たな観光スポットにしてはどうか。 A(商工観光部長) 河川敷内は河川法の災害防止から、工作物の設置も含め植樹などできないが、「豊沢川の景観」など各事業を組み合わせ検討する。



環境整備が進むイギリス海岸